

第 17 回 複合型サービス ひと息の村 運営推進会議議事録

日時 平成 28 年 2 月 3 日 (水) 14 時～

場所 ひと息の村 相談室

(参加者)

木原 和人氏 (宮前老人クラブ会長)
霍田 陽吉氏 (北校区民生委員)
大澤 哲夫氏 (宮前・北町区民生委員)
上村 真弓氏 (利用者家族)
戸川 真菜実 (行橋市介護保険課)
重原 加奈子氏 (行橋高齢者相談支援センター)
矢津 久美子 (矢津クリニック)
白川 美弥子 (ひと息の村 訪問看護ステーション 管理者)
余村 徹 (複合型サービス ひと息の村 管理者)
池本 直宏 (複合型サービス ひと息の村 計画作成担当者)

議事次第

- 1、 第 16 回運営推進会議 議事録の確認
- 2、 利用状況についてお知らせ
平成 27 年 12 月 1 日～平成 28 年 1 月 30 日までの利用状況、報告

【登録利用者数】 11 名 (1 名入院中 2 月 1 日時点)

男性	女性
4 名	7 名

【要介護度】 平均介護度 2.8

要介護 1	3 名
要介護 2	2 名
要介護 3	0 名
要介護 4	1 名
要介護 5	3 名
区変中	2 名

【圏域】

行橋高齢者	7名
長峽高齢者	1名
今元高齢者	1名
中京高齢者	1名
泉高齢者	1名

【平均年齢】 77.3歳**【病状内訳】**

- ・DM・・・2名
- ・アルツハイマー・・・1名
- ・多系統委縮症・・・1名
- ・若年性アルツハイマー・・・1名
- ・副鼻腔アスペルギルス症・・・1名
- ・廃用症候群・・・1名
- ・COPD・・・1名
- ・認知症・・・1名
- ・肺がん・・・1名
- ・筋委縮性側索硬化症・・・1名

【状況】 12月・1月平均

	日	月	火	水	木	金	土
通い	2.8人	6.5人	6人	7.4人	7.7人	7.3人	7.6人
訪問	2人	0.8人	2人	1人	0.7人	0.4人	1.4人
泊り	2.7人	0.9人	1.1人	1.8人	1.3人	2.8人	3人

2月予定《11名 2月1日現在》

	日	月	火	水	木	金	土
通い	3.5人	8人	6人	8.3人	7人	8.5人	7.5人
訪問	3件	1件	1件	1件	2件	0件	2件
泊り	2.8人	1人	1.5人	1.5人	1人	2.5人	2.8人

3、近況状況

*12/2 運営推進会議

*12/12 甲状腺がん患者永眠

*12/16 避難訓練

*12/25 クリスマスレク

*1/11 老人会交流会

* 1/15 腎細胞がん患者永眠

* 1/26 新潟県長岡市役所介護保険課視察

* 1/29 新規（肺がん）利用開始

* 吸引研修

4、2月、3月の行事予定

2/13（土）死の臨床（福岡国際会議場）

3/12（土）多職種交流会

3/20（日）在宅ホスピスフェスタ（アクロス福岡）

5、次回の開催について

次回 4月2日（水） 14時～

(意見交換)

余村 : 「先日避難訓練を行いました。非常ベルがなり、利用者はすぐに屋外へ避難したのですが、その後の防火システムの復旧に時間がかかってしまいました。担当者が当日不在であったために、上手く連携がとれず、皆さんにご迷惑をお掛けしました。今後はこのような事がない様に、気を付けていきたいと思います。

また、先日の大雪の際は、安全を考慮し、通い・訪問のサービスは中止とさせていただきます。前日より泊りサービスを利用していた方のみ、通いを利用しています。」

上村氏 : 「職員もあの雪の中を送迎に出るのは、怖いと思います。」

霍田氏 : 「雪の中を車で走った事があるけど、やはり怖いですね。」

大澤氏 : 「滑り出したら止まらないですからね。」

霍田氏 : 「昼間も雪が解けていなかったし・・・四輪駆動車でも、あまりあてにならないですね。それより、総合支援事業で要支援 1 と 2 が廃止になると、大変なことになるのではないですか？」

戸川氏 : 「無くすと言うのではなく、移行していくと言う考えです。認定審査がないと、デイやヘルパーは使う事が出来なかったのですが、チェックリストで対応すれば、認定審査がなくても利用出来る様になるのではないかと考えています。」

霍田氏 : 「ボランティアさんにヘルパーの代わりにしてもらおう様になると、ボランティアさんの役割も大変なものになりますね。」

戸川氏 : 「平成 30 年までに要支援は、市へ移行となります。ヘルパー事業所も人材確保が難しい状況です。身体介護はヘルパーが、生活援助はボランティアさんが、といった対応になると思います。また、シルバー人材にも協力して頂きたいですね。今後こういった形になるかは、まだよく分かりませんが・・・」

岩本氏 : 「利用者自身にも分かって貰える様、その都度説明していきます。デイ、ヘルパーは総合支援事業になります。プランは同じですが・・・」

霍田氏 : 「連絡協議会への、行政としてのかかわりはどうですか？」

戸川氏：「事業所同士の関係作りをしています。」

霍田氏：「行政から、包括ケアシステムを各校区で作rinaさいと言われるが、無理ではないでしょうか？行政が先に立って仕組みを作っていかなければ・・・」

戸川氏：「今、基盤整理をしている所です。皆さんと一緒に作り上げていきたいですね。」

霍田氏：「行政での窓口で、特定のパンフレットは置くことが出来ませんか？」

戸川氏：「特定のものを置くことは出来ませんが、その都度お話しさせて頂いています。地域密着の事業所に関しては、前回の市報に掲載させていただきました。また、ひと息の村に関しては、本日取材させて頂き、3月1日の市報に掲載する予定です。」

矢津（久）：「市報の効果は大きいですからね。」

霍田氏：「在宅生活されている方がいて、認知症の診断を受けて、今様子をみさせてもらっています。雨戸が昼間しまっている事もあります。訪ねて行くと、顔は覚えているが、名前は忘れてしまった・・・と言われることもあります。デイに行くと、しっかりされるみたいですが、自宅に戻ると・・・。何処かへ入居するにしてもお金がかかりますからね・・・」

木原氏：「老人会は、新年度に向けての行事計画を立てている最中です。5月は3日に宮前区のお祭りを考えています。ご協力を宜しくお願い致します。」

以上